

**東芝ライテック(株) 本社・横須賀工場 サイトレポート情報**

所在地	: 神奈川県横須賀市船越町1-201-1
敷地面積	: 43,256㎡(建家面積:54,154㎡、緑化率:7.6%)
従業員	: 442人(2016年4月現在)
主要製品	: ジュメットワイヤー、HIDランプ
ISO14001認証取得日	: 1996年10月29日
最新更新年月	: 2014年10月29日 (ISO認証番号: EC99J2026)
有効期限	: 2017年10月28日



**ごあいさつ**

東芝ライテック(株)本社横須賀地区は、周辺を住宅、商店、小・中学校、更に東側は海に面し、海上自衛隊基地が隣接された立地条件の中で事業を展開しています。主力製品はジュメットワイヤー、HIDランプであり、住宅、オフィス、屋外、舞台、スタジオ等、様々なシーンに応じたLEDをはじめとする各種光源、照明器具、照明システムに展開しています。また、ハマカンゾウの保全活動など、環境保全活動にも従業員一丸となって取り組んでいます。



環境保全責任者 高橋薫 グループ長

**2015年度の環境の主な取組み**

**1. 環境マネジメント**

- (1)ISO14001環境マネジメントシステム
  - ・2014年10月認証更新、2015年9月定期サーベイランス認証継続
- (2)環境保全体制の充実
- (3)法令、条例の順守

**2. 事業活動における環境への取組みの改善**

- (1)地球温暖化防止
  - ・エネルギー起源CO<sub>2</sub>総排出量生産高原単位 目標248t-CO<sub>2</sub>/億円(前年2%削減) 実績201t-CO<sub>2</sub>/億円(19%削減)
  - ・物流CO<sub>2</sub>総排出量生産高原単位 鹿沼にて表示(全社一括管理)
- (2)資源有効活用
  - ・廃棄物総発生量生産高原単位 目標11.0t/億円(前年2%削減) 実績6.6t/億円(40%削減)
  - ・最終処分率 目標0.5%未満 実績0%
  - ・水受入量生産高原単位 目標1.38千m<sup>3</sup>/億円(前年2%削減) 実績1.34千m<sup>3</sup>/億円(2%削減)
- (3)化学物質管理
  - ・化学物質取扱量生産高原単位 目標2.34t/億円(前年1%削減) 実績2.64t/億円(目標未達)

**3. 環境コミュニケーション**

- (1)全員参加・啓発活動の展開
  - ・環境月間、3R月間、省エネ月間による環境啓発活動
- (2)地域とのコミュニケーション
  - ・生物多様性の取組み(希少植物の保護・育成)
  - ・構内外清掃活動

**横須賀工場で製造する環境調和型製品の紹介**



HIDランプ (透明形)



HIDランプ (拡散形)



HIDランプ (蛍光形)

## 東芝ライテック株式会社 環境方針

東芝ライテックグループは、東芝および東芝インフラシステムソリューション社グループの環境基本方針である「“かけがえのない地球環境”を健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立ち、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

社会インフラ事業を担う東芝インフラシステムソリューション社グループとして、環境調和型ソリューション・製品・サービスの提供と環境配慮都市の構築に貢献します。当社の事業分野である、照明商品、照明システムに加え、IT技術を活用した、HEMSやスマート分電盤、配線器具、蓄電池などの制御システムの製品の開発、製造、販売、サービスで、持続可能なスマートコミュニティー社会実現を目指した環境経営を推進します。

### 1. 環境経営の推進

- (1) 環境への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、経済と調和させた環境活動を推進します。
- (2) 事業活動、製品・サービスにかかわる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、汚染の予防、生態系の保護などに関する環境目的および目標を設定して、環境活動を推進します。
- (3) 監査の実施や活動のレビューにより環境パフォーマンスを向上させるための環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- (4) 環境に関する法令、当社が同意した業界などの指針および自主基準などを順守します。
- (5) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
- (6) グローバル企業として、東芝グループ一体となった環境活動を推進します。

### 2. 環境調和型製品・サービスの提供と事業活動での環境負荷低減

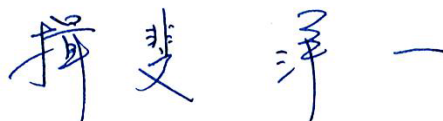
- (1) 地球資源の有限性を認識し、製品、事業プロセスの両面から有効な利用、活用を促進する、積極的な環境施策を展開します。
- (2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品・サービスを提供します。
- (3) 気候変動の緩和・適応、持続可能な資源の利用、化学物質の管理など、設計、製造、流通、販売、廃棄などすべての事業プロセスで環境負荷低減に取り組みます。

### 3. 地球内企業として

- (1) 優れた環境技術や製品の開発と提供、および地域・社会との協調連帯により、環境活動を通じて社会に貢献します。
- (2) 相互理解の促進のために、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

2016年6月22日

東芝ライテック株式会社  
取締役社長

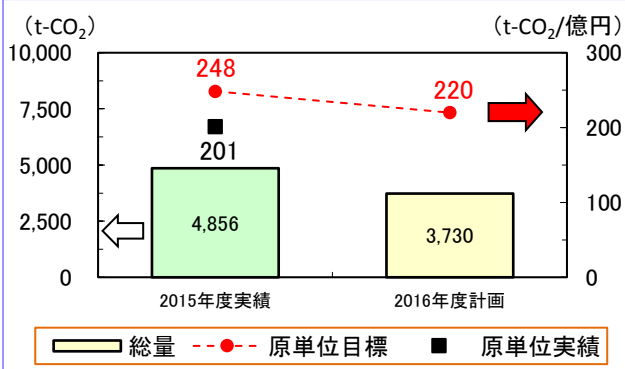


事業活動における環境への取組みの目的・目標

取組み項目		2016年度
地球温暖化防止	エネ起源CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の改善(t-CO <sub>2</sub> /億円)	220
	物流CO <sub>2</sub> 総排出量原単位の改善(t-CO <sub>2</sub> /億円)	-
資源有効活用	廃棄物総発生量原単位の改善(t/億円)	10.5
	最終処分率の管理(%)	0.35
	水受入量原単位の改善(千m <sup>3</sup> /億円)	1.44
化学物質管理	化学物質取扱量原単位の改善(t/億円)	2.87

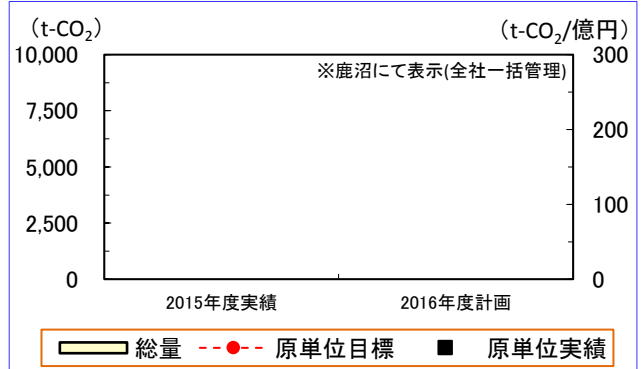
環境負荷データ

エネ起源CO<sub>2</sub>

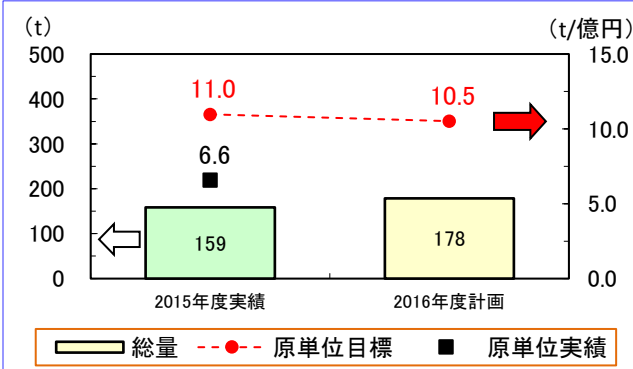


※2016年度で製造終息のため、2016年度まで記載しています。

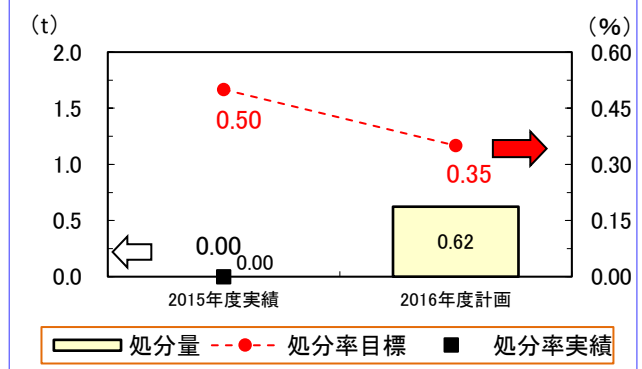
物流CO<sub>2</sub>



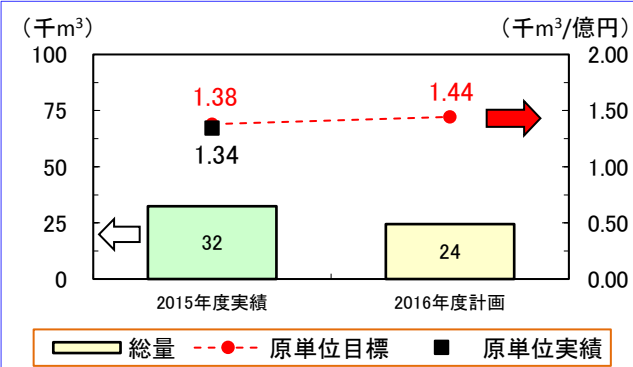
廃棄物総発生量



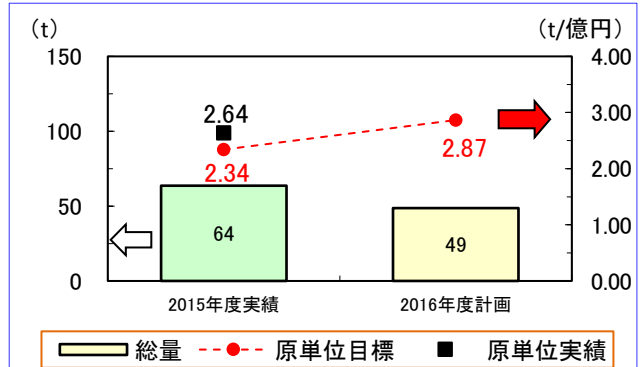
最終処分率



水受入量



化学物質取扱量



## 環境コミュニケーションの紹介

### <2015年度受賞関係>

○第11回東芝グループ社会貢献賞受賞

横須賀地区でのハマカンゾウの人工増殖と小網代の森への返還活動が、「生物多様性のための希少植物の育成」として認められました。



授与式の様子



受賞「生物多様性のための希少植物の育成」

### <小学生への環境学習>

2007年より近隣小学校(5学年)を対象に環境学習をスタートし、今回で9回目です。

地球温暖化やLED照明の講義、風船を液体窒素に入れた実験や排水浄化の実験、社内の環境施設見学を実施しました。当日はPTAの方々も一緒に参加されました。

(実施概要)

- ・日時:2016年2月16日
- ・場所:横須賀市立船越小学校
- ・参加人数:97名



環境学習の様子

### <構内外一斉清掃活動>

横須賀地区の建屋裏手は雑草が多く、また家庭ごみ、空き缶、弁当殻などのゴミが多々見られます。

CSR活動の一環として今年度は一斉アクションにより2回清掃活動を実施しました。

(実施概要)

- 1回目
- ・日時:2015年4月24日
- ・参加人数:68名
- 2回目
- ・日時:2015年12月9日
- ・参加人数:75名



集合写真

生物多様性の取組み

**1. 指標種の選定**

指標生物	指標生物の希少性
ハマカンゾウ	(神奈川県三浦半島で減少)

**2. 横須賀地区内での保護・育成活動**

2012年5月、三浦半島の小網代の森にて盗掘被害に遭っているハマカンゾウを28株を移植しました。そして2014年5月、100株を増やして返還しました。 同時期、盗掘を免れ群生していたハマカンゾウ100株を事業所内に移植し増やした後、次の返還に向け保護育成中です。



ハマカンゾウ移植の様子



開花したハマカンゾウ



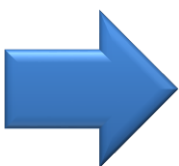
エノキテラスにて返還を終えた後の集合写真

**3. DNPテクノパックとのハマカンゾウ合同保全**

2015年5月、DNPテクノパックへ「ハマカンゾウ」を30株移植しました。増やした後、両社合同での返還を予定しています。



掘り起こしたハマカンゾウ



DNPにて移植したハマカンゾウの前で両社関係者